

令和5年度「アウトリーチ（訪問支援）研修」 実地研修計画書

【1 機関・団体概要】

機関・団体名	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター
機関・団体代表者	理事長 河野 久忠
所在地	〒197-0011 東京都福生市福生 2351-1
電話番号／FAX番号	042-553-2575 / 042-551-6759
HPアドレス	https://www.npo-yasc.jp/
研修実施場所	同上 ※当法人の八王子支所、足立支所での研修もあり
研修実施場所の最寄駅	JR 青梅線「福生」駅
団体概要 (設立趣旨等)	日本の将来を担う青少年の健全育成を考える時、全ての青少年にその機会が提供されるべきである。不登校、ひきこもり状況等に陥った青少年が社会参加できないことは、当事者、家族にとって育成の機会を失ったことに他ならない。当法人は、当該青少年が自ら尊厳を持ち、積極的に社会参加できるよう寮生活を通して、心の傷の回復や、人間同士の信頼関係、基本的な生活習慣の立て直し、将来に対する意欲や目標を持つことができるようサポートする。
職員数	140名（内訳：常勤 50名 / 非常勤 90名）
機関・団体の アウトリーチの特徴等	当法人では昭和52年の開設以来、自主事業としてひきこもり状態の若者に対するアウトリーチ事業を基軸とした自立支援活動を全国展開してきた。 近年では、アウトリーチ手法が一般的にも知られるところになり、当法人に於いても地方公共団体から複数のアウトリーチ事業を受託している。その実践の中で見えてきた公的な支援制度からこぼれ落ちていく層に対応すべく、民間の強みを生かしたアウトリーチを行っている。 特に、家族間で有効なコミュニケーションを殆ど取ることが出来ず家族内でも孤立している状況で、ひきこもり状態本人の積極的な相談意欲が無い(会えない)状態から、段階を踏みながら時間をかけて丁寧かつ慎重に声掛けを積み重ね、本人にとって適切な支援を選択していってもらう手法が特徴である。
機関・団体で運営している 相談・支援機関名	東京都ひきこもりサポートネット（東京都ひきこもり地域支援センター）
機関・団体で運営している 相談・支援機関名	八王子市若者総合相談センター
	セーフティネットあだち
	若年層に対する日常社会生活支援
	あだち若者サポートステーション

	いたばし若者サポートステーション
	多摩若者サポートステーション（八王子サテライト）
	わかもの就労サポートデスク
	障害者就業・生活支援センターけるん

【2 令和4年度中のアウトリーチの実績概要】

① 法人本来事業 91件

ひきこもりの若者(10歳代～概ね30歳代)が対象。家族からの相談を受けて、訪問の依頼があり訪問支援が適切であれば、実施。支援範囲は全国。

ひきこもり状態の本人の積極的な同意がない(会えない)状態から、段階を踏みながら丁寧かつ慎重に声掛けを積み重ね、適切な支援に繋ぐ。

② 東京都ひきこもりサポートネット 38件

東京都内在住で、6か月以上ひきこもりの状態が続いている義務教育終了後の15歳以上で、本人の同意のある方が対象。全5回＋支援機関等への同行支援2回で適切な支援に繋ぐ。

③ 若年層に対する日常・社会生活支援 支援対象者111名

足立区内の生活保護世帯の若者(15歳～39歳)のうち、ひきこもり等の課題がある方にアウトリーチを基本とした個別かつ伴走型の支援を行う。

就労・自立、場合によっては就学支援、医療受診や障害者手帳取得の支援を他機関と連携して行う。

④ セーフティネットあだち 77件

足立区内の生活困窮者のうち、主にひきこもり等の課題がある方への必要に応じて同行支援(支援機関、医療機関等)を実施。

⑤ 八王子市若者総合相談センター

市内の若者支援機関に対して機関連携型のアウトリーチを実施。情報交換等を通じて各機関が連携することによって進路未決定者や他機関の支援が必要な若者などを対象機関に円滑に誘導することを目的とする。

【3 過去2年間における子供・若者の支援に関する研修実績】

【令和4年度】

① ひきこもり支援に携わる人材の養成研修 ステップアップ研修（1）

主催：大阪府福祉部子ども家庭局子ども青少年課

実施日：令和4年11月22日

概要：大阪府内の市町村及び民間支援団体等にてひきこもり支援に携わる方が対象

- ・ひきこもり支援におけるアウトリーチに関する講義
- ・ロールプレイ演習
- ・参加人数：24名

② 全国公的扶助研究会

実施日：令和4年11月6日

参加人数：150名

対象：福祉事務所ケースワーカー・困窮福祉窓口職員・民間支援団体職員等

- ・ひきこもり支援に関して

③ 青梅市民生・児童委員向け講習

実施日：令和4年3月2日

参加人数：130名

- ・ひきこもり基本・対応の基礎

【令和3年度】

① 成人期発達障害者支援力向上研修＜専門的人材育成研修Ⅲ＞福祉（ひきこもり）関連コース

主催：東京都福祉保健局、東京都発達障害者支援センター（TOSCA）

実施日：令和3年11月27日、12月1日

概要：発達障害者の支援の現場で相談支援業務等の中核を担う職員が対象

- ・医療、司法、福祉の支援によるパネルディスカッション
- ・特にひきこもりを伴う支援困難についての事例検討会
- ・参加人数：15名

② 令和3年度子供の学習・生活支援事業従事者研修

主催：東京都福祉保健局生活福祉部地域福祉課（生活困窮者対策担当）

実施日：令和4年2月8日

概要：当該事業を受託する団体職員及び自治体の生活困窮者自立支援制度所管課職員が対象

- ・コロナ禍による影響が長期化する中で、子供の学習・生活支援事業が果たす重要性和周辺施策の動向等
- ・取組事例報告、参加者との意見交換
- ・参加人数：44名

【4 過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

【自主事業】

- ① ひきこもり等への相談・訪問事業
- ② 共同生活寮運営事業、就労・自立支援事業、フリースペース運営
- ③ YSCグローバルスクール（海外にルーツのある若者への支援）
- ④ 就労継続支援B型・就労移行支援事業 ジョブスペース游
- ⑤ 障害者グループホーム きんもくせい第1～5

【委託事業】

- ① 障害者就業・生活支援センターけるん（厚生労働省・東京都）
- ② 東京都ひきこもりサポートネット（東京都）
- ③ 地域若者サポートステーション事業（足立区、板橋区、福生市）（厚生労働省・東京労働局）
- ④ わかもの就労サポートデスク（荒川区）
- ⑤ セーフティネットあだち（足立区）
- ⑥ ひきこもり等支援事業（青梅市）
- ⑦ 子ども若者育成支援業務（多摩市）
- ⑧ 若者総合相談センター（八王子市）
- ⑨ 生活困窮者の子どもの学習支援（板橋区、八王子市、福生市）
- ⑩ 八王子市若年無業者就労促進事業（八王子市）
- ⑪ 若年層に対する日常・社会生活支援（足立区）

【5 実地研修責任者・担当者】

	実地研修での役割 (実施責任者・担当者 等)	・保有資格（アウトリーチ関連） ・アウトリーチ経験年数
1	統括責任者	教員免許 支援歴 28年
2	主任講師	支援歴 20年
3	講師・訪問随行	支援歴 15年
4	講師・訪問随行	支援歴 6年
5	講師・訪問随行	支援歴 18年

【6 研修生の受入条件】

	受入条件
受入可能日数	7日間
受入可能日程	令和5年11月5日（日）～11日（土） ※研修期間中に休日は設けない

受入可能人数	3名
保有資格（アウトリーチ関連）の要否、その他の受入条件	保有資格は不問 1年以上の支援経験のある方

【7 実地研修内容】

実地研修内容	
※下記の「初日」～「最終日」までの研修内容については、過去の実績に基づいた予定となります。	
実地研修全体の概要	「発見・誘導・参加・出口」の、ひきこもり状況における支援プロセスを経験・理解して、支援現場で活かせるスキルを身に付ける。「発見・誘導」を担うアウトリーチへの同行に加えて、当法人の活動を通じて「参加・出口」までのトータル的な視点をイメージできる事を目指す。
研修初日の開始予定時刻	8：30 開始
研修最終日の終了予定時刻	17：00 終了
2日目以降の研修開始時間	① 8：30 開始 ② 9：30 開始 ※研修実施場所により異なる
2日目以降の研修終了時間	① 17：00 終了 ② 18：30 終了 ※研修実施場所により異なる
初日の内容	・オリエンテーション ・研修スケジュールの確認 ・法人概要の説明、当法人のアウトリーチに関する研修
アウトリーチ（訪問支援）を実施しない日の内容	・自立支援現場での実習、セミナー実施 ・アウトリーチに関する座学、ロールプレイ演習
アウトリーチ（訪問支援）同行日の内容	・当法人の本来事業に於けるアウトリーチ同行 主に家族対応、本人対応は原則なし。行き先によって研修時間の長短あり。 ・生活保護世帯の若者へのアウトリーチ同行 本人対応。当法人の足立支所に集合して出する。
最終日の内容	・全体の振り返り ・各研修生のアウトリーチ同行の情報共有
前年度実地研修でのアウトリーチ実施回	5回
今年度実地研修でのアウトリーチの回数（予定）	2回以上 ※ 研修生のスキル、訪問先の状態等による
研修生の宿泊について	指定なし
休業日について	法人としての休業日はなし
備考欄（服装等）	アウトリーチ同行の際はスーツ不可、動きやすい服装 2日目以降の研修時間は状況によって変更あり